
武名高き廓屋一族

幻籠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

武名高き廓屋一族

【Nコード】

N32330

【作者名】

幻籠

【あらすじ】

PSゲーム『俺の屍を越えてゆけ』の自家プレイ記を元にした二次創作小説です。俺屍世界に迷い込んだオリ主視点で綴られるある一族の物語です。厳密に言うとプレイ記としての役割を果たしていないので、攻略に役立つ情報はあまりありません。あと、ネタバレ注意です。

序章（前書き）

クリックしていただき、どうも有難うございます。

この序章は物語の前提です。ゲーム内の情報を簡潔にまとめてあります。

序章

時は平安。

物語の全ては、ある天女が人間の男に恋をした事から始まった。

目の前に降りてきた天女の姿に男もまた恋をし、結ばれて夫婦となった。

神の加護を受けた男の住む地は、この世の栄華を極めた。街は発展し、不作に悩まされる事はない。課せられた税によって困窮する事もなく、圧政に苦しめられる必要もない。それ故に、人々は挙って男の住む地を目指した。

だが人の身には過ぎた加護は、同時に人の恨み・妬みを買った。

男の存在を面白くなく感じていたのは、時の帝だった。その内、民から正統な神の使いと認識されるようになった男の街へと、朝廷から軍が差し向けられた。

男は殺され、男の妻となっていた天女は我が子を逃がす為に捕らえられた。幼い姉はまだ乳飲み子の弟を守って死に、独り残った弟は行方を眩ました。

こうして残された赤子が、独り。

そして、時代が巡り。

神から見離されたのか、いつしか都は、その周辺を鬼達が跋扈する危険な地に成り果てていた。倒しても倒しても湧き出てくる悪鬼達に対して、衛士や陰陽師の数は到底足りなかった。度重なる鬼達の襲撃を受けた都は、衰退の一途を辿っていた。

襲撃を掛け続ける鬼達の、頭目の名は朱点童子。幾百もの侍が朱点童子に挑んだがその悉くが敗れ去り、都に平安の光は見えなかった。しかしある年の瀬、一組の夫婦が朱点童子の本拠地へと乗り込もうとしていた。

群がる鬼達を切り捨てて、夫婦は朱点童子の占領する館へと辿り着いた。しかし、卑怯な騙し討ちを受けて夫は殺され、妻は都に残してきた筈の我が子を盾に取られ、泣く泣く朱点童子の元に下った。更に卑劣な事に、朱点童子は夫妻の子供に呪いを掛け、復讐が起らない様に捨て去った。

こうして残された赤子が、また独り。

神の血を継いだ赤子。
鬼の呪を受けた赤子。

残された赤子達は、一体何処へ？
これは、その行く末を知る物語…。

序章（後書き）

次回からは、大体一ヶ月区切りで物語の中の話を進める予定です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3233o/>

武名高き廓屋一族

2010年10月15日23時53分発行